

# 2023 沢チ チャレンジ検討会

---

2023年2月15日

ZOOM会議

光みなぎる溪を歩く、滝を登る、淵を泳ぐ、たき火を囲んでの夜、そしてヤブを漕いで達した山頂。このような登山を一般的に沢登りという。沢登りは危険な登山と思っている人もいるだろう。確かに逆行技術も習得せずに、沢に向かうと危険である。しかし「危険」と「困難」は異なるもので技術と経験を積みれば危険は困難に変わり、この困難を克服していけば一般の登山に比べて、充実感は一塩の物となる。毎月沢を登ろうという企画「沢チャレ2023」を開始します

1. 対象者：アルパイン山行を希望し、沢山行にもチャレンジしたい会員なら誰でも参加できます

3. 申込締切：5月11日（木）午後8時まで

4. 申込先：CL:3028浅野まで メールで申込下さい  
SL:3745中貝博樹

5. 参加条件：アルパイン山行経験者、クライミング経験者 及び沢山行経験者で一定のロープワークができる会員とします。沢を始めたい意欲のある会員。

6. 実施内容：講習打合1回・実技6回 実技山行は別途会報で山行計画を発表致します。

	日時（仮）	内 容（案）
山行打合 講習	5月16日（火）	事務所18：30～ 打合せ・講習会 オリエンテーション・机上講習並びに山行打合 沢の基本、沢装備、沢遡行図
5月の沢	5月27日（土）	高山 沢上谷
6月の沢	6月17日（土）	鈴鹿 東多古地谷
7月の沢	7月2日（日）	鈴鹿 ツメカリ谷
8月 沢遠征	8月25（金）～ 27日（日）	甲武信岳山系の「釜ノ沢東俣」初日は笛吹小屋のテント場泊 2日目は沢で「焚火」をしてタープ泊 赤木沢も検討する
9月の沢	9月23日（土） ～24日（日）	鈴鹿 中ノ谷、カズラ谷
10月の沢	10月14日（土）	奥美濃キノコ採集 沢山行

## 沢の検討 ☆沢チャレ（初級）

鈴鹿

カズラ谷	宮妻峡駐車場
中ノ谷	宮妻峡駐車場
ジャリガ谷	宮妻峡駐車場
ヤケギ谷	小岐須溪谷駐車場
池ノ谷	小岐須溪谷の奥の池ヶ谷登山道の脇に駐車
大岩谷	小岐須溪谷駐車場
焼合谷	尾高キャンプ場の駐車場
藤川谷	道の駅奥永源寺溪流の里の近くの登山者駐車場
矢原川本谷中俣	坂本棚田の駐車場
花の木谷	石水溪谷キャンプ場奥の安楽川林道
流れ谷	朝明溪谷駐車場

比良

へク谷

白滝谷

サカサマ谷

荒谷

久多川掛橋谷

日野谷堂ヶ谷右俣

カラオ谷

ゲロク谷右俣

アヒノ谷

	●釜の泳ぎ系	
鈴鹿	元越谷	野洲川ダム東1kmの林道ゲート前に駐車
	石谷川	石水溪谷の駐車場
	ツメカリ谷	朝明溪谷駐車場
	●沢泊系	
鈴鹿	下谷尻谷	朝明溪谷駐車場

# ☆クライミングGr（中級）

	●大滝登攀系	
鈴鹿	東多古知谷	百間滝 70m
	矢原川本谷左俣	下不動滝 80m
	●ゴルジュ系	
鈴鹿	滝洞谷（鈴鹿最難関級）	
	●登攀系（ロープ要）	
鈴鹿	蛇谷	宇賀溪キャンプ場の有料駐車場
	ホタガ谷	宇賀溪キャンプ場の有料駐車場
	カニクチ谷	石樽トンネル手前の旧421の道路脇に駐車
奥三河	栃ノ木沢	しゃくなげの里奥の明神山登山口駐車地
比良	八幡谷	
	口の深谷	
	奥の深谷	
	八池谷	
	●泳ぎ登攀系	
鈴鹿	渋川	愛郷の森の奥の駐車地
	仙香溪～赤坂谷	杠葉尾登山口に駐車し発電所脇から入溪
比良	猪谷	



# 皆さんからの希望の沢山行

## 3827 石川真由美

●秋に**巻機山・米子沢**（**遡行グレード：1級上**）に行ってみたいです。10月なら紅葉も楽しめると思います。**名古屋から5時間半～6時間の移動時間あり**

米子沢は、本来入渓禁止だが、黙認状態。遭難などしないよう、十分な技術、体力、装備が必要。

名峰、巻機山から流れる有名な沢登りルート。早朝桜坂駐車場を出発すれば日帰り可能。

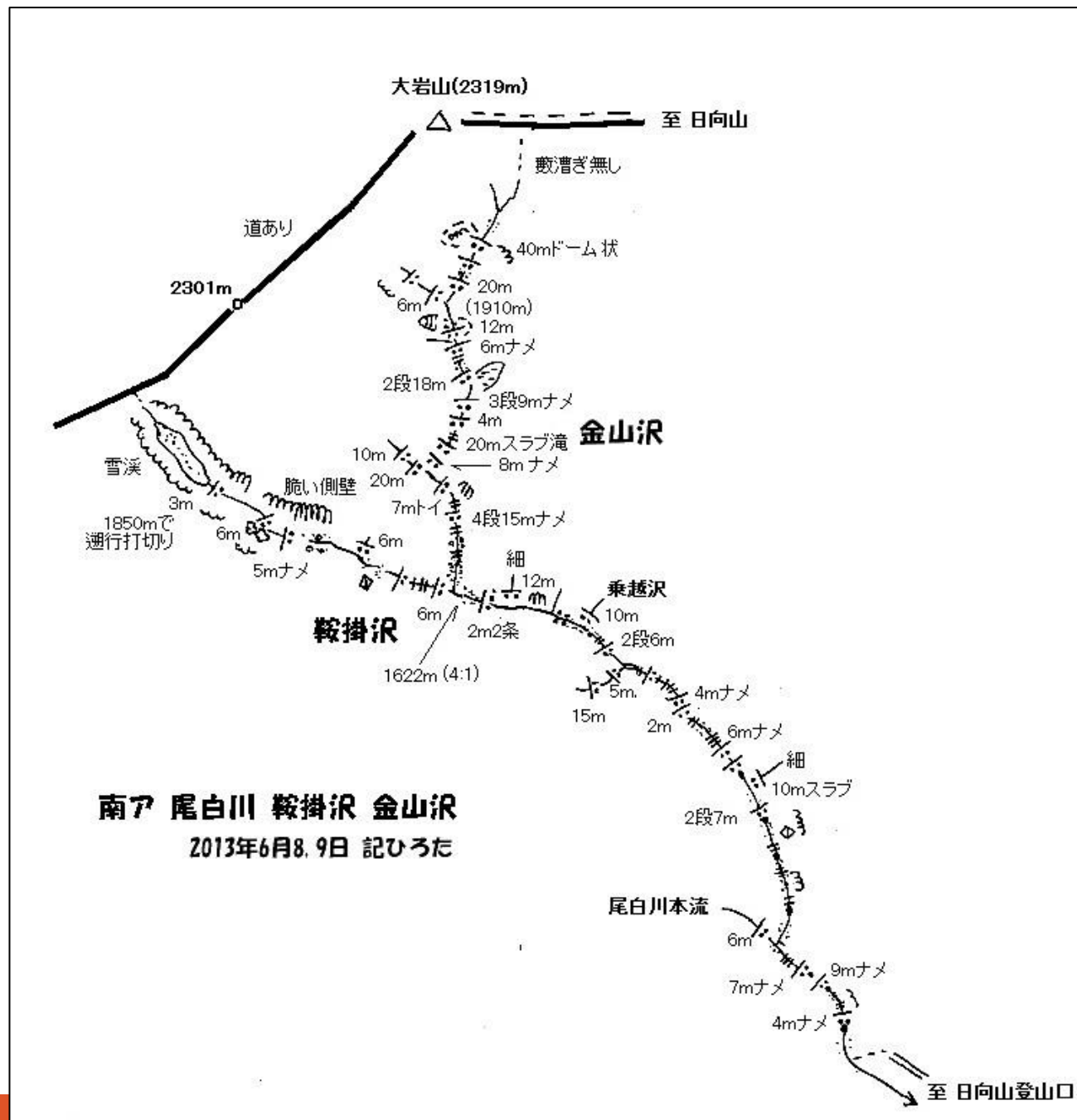
下部は幅広いゴーロ帯の中に水は伏流しているが、遡るにつれ水流が姿を現し、美しい滝群、突破可能なゴルジュ帯、そして米子沢の顔でもある大ナメ・・・と遡行者を飽きさせない名渓である。詰めは次第に斜度が落ち平和な小川となり、時期になれば野苺、ブルーベリーなど山の恵みに預かれる。奥の二俣から右沢は自然保全のため入渓禁止なので、左沢へ入り巻機山避難小屋へ抜けよう。遡行グレードは6段階評価で2級下（平水時）。ただし桜坂駐車場横でもし水が少しでも流れているならば、米子沢は水量が相当多く、遡行レベルはグンと上がると見てよい。特に滝の落ち口のナメ状は水量が踝辺りでも十分に足をすくわれることがあり、結構滑落事故が多いので、そのような場合で初級者がメンバーにいるならば中止した方がよい。



●尾白川支流 鞍掛沢（日向山？）が日帰りできる美渓とネットにあったので行ってみたいです。

<http://sonosoranoshitade.web.fc2.com/sonosoranoshitade4/page013.htm>

名古屋から 3 時間半の移動時間

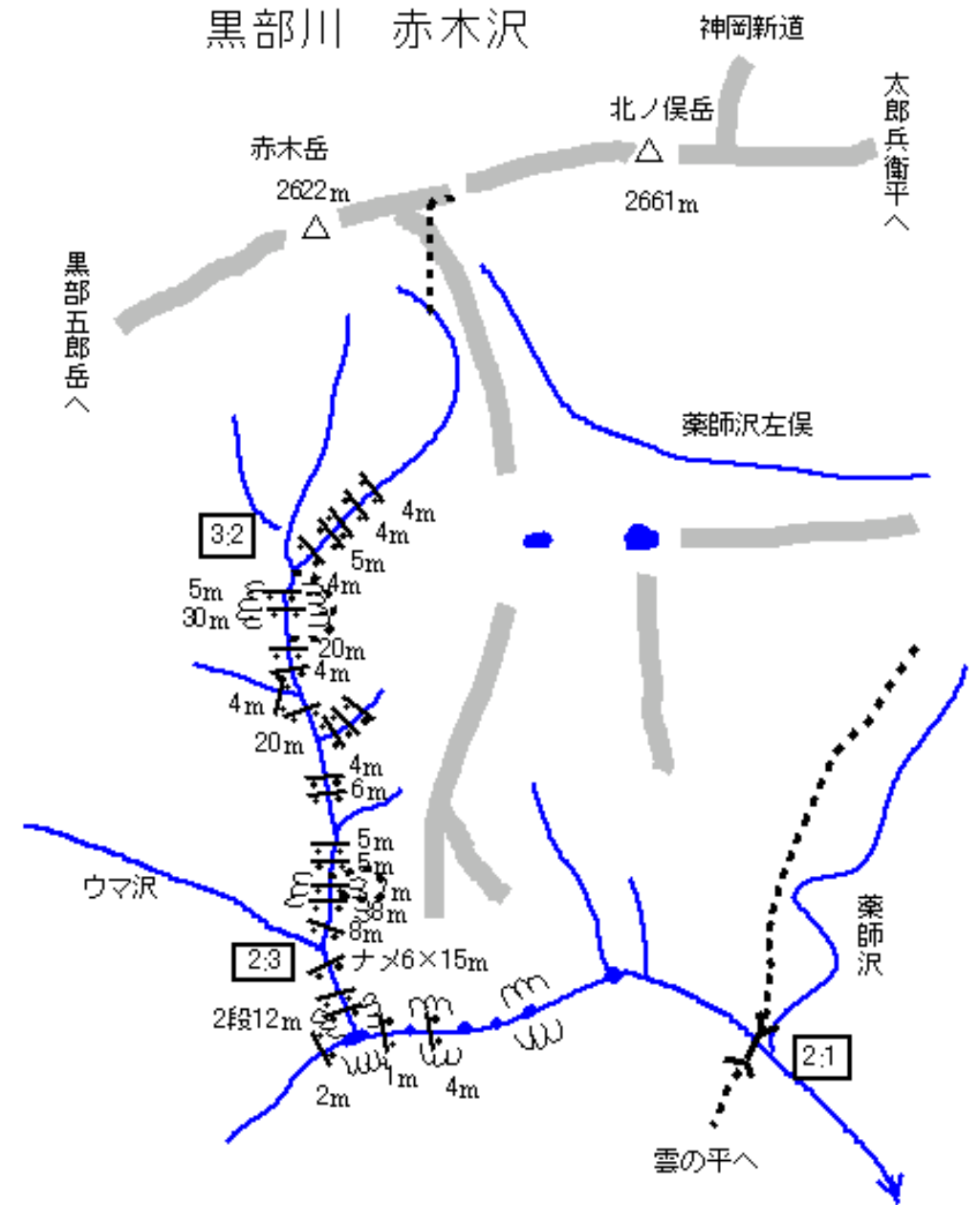


2965中村

笛吹川釜の谷と赤木沢に行ってみたくてです。

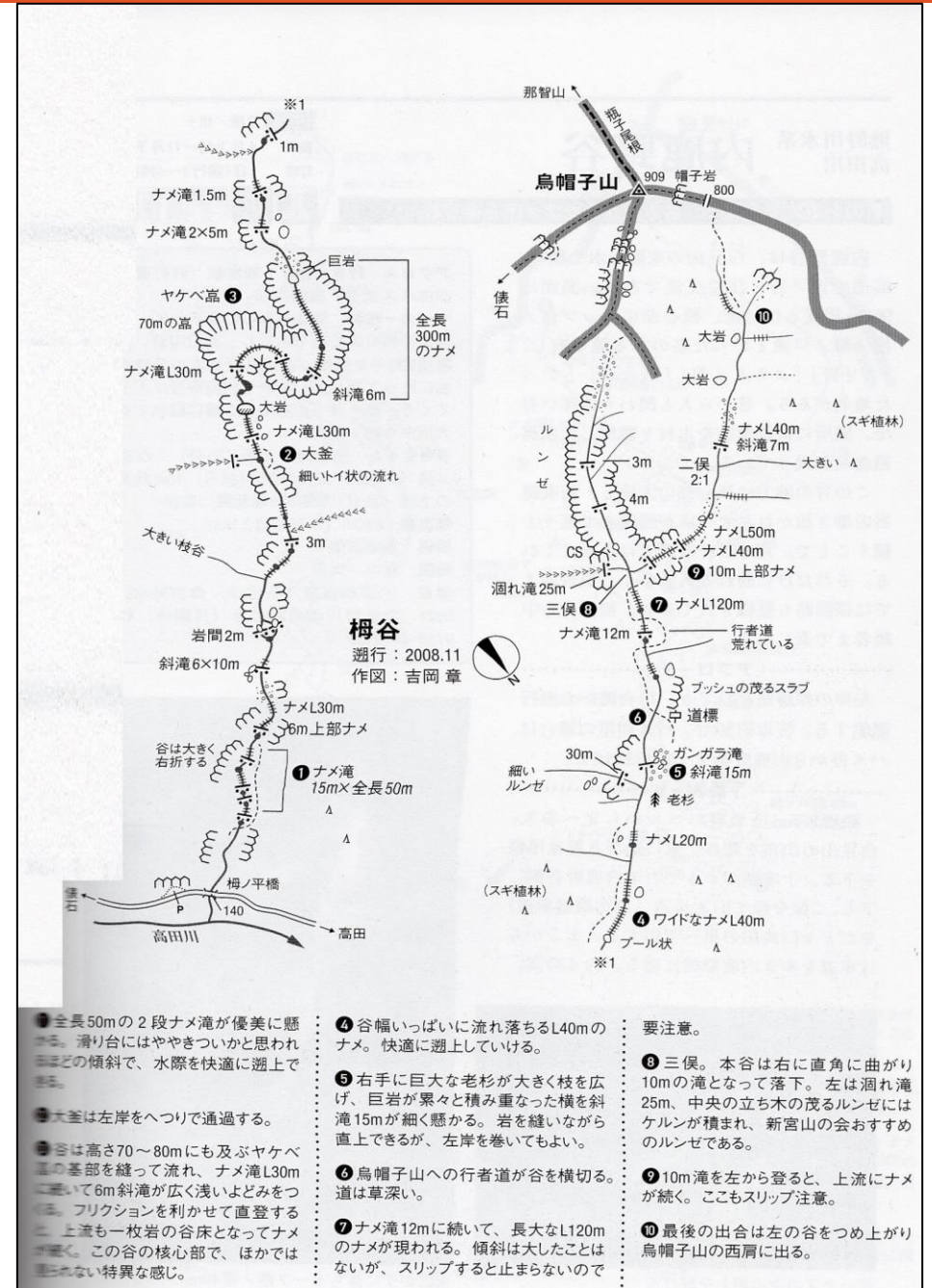
憧れの赤木沢は裏切らなかった。とてつもなく美溪でまさに沢のクィーンであった。この高度差520mの沢を遡上するための2泊3日の行程は全く無駄ではなかった。さらに赤木沢出合に至るまでに、黒部川本流から突きつけられた、“へつり”、“渡渉”、“藪漕ぎ”、“ルーファイ”、“懸垂”という盛りだくさんの課題が赤木沢をより一層輝かせた。

名古屋から折立駐車場まで約5時間弱の移動行程



# 3851 伊藤優子

南紀 熊野川水系高田川柵谷 (1級上 / II+) 名古屋から3時間30分



# 熊野川水系小口川静閑澗

(せいかなとろ)

(1級上 / II+)

名古屋から4時間10分



# 大峰 川迫川神童子谷

(一泊又は日帰りで引き返しも可能)  
(1級上/II)

## 名古屋から3時間50分



- 神童子谷 (ノウナシ谷)**  
 遡行：2006.7  
 作図：吉岡章
- ① 作業道を伝い、へっついさんの淵の手前から入渓。年によって水量が違うが膝上ぐらいの徒渉で通過できる。
  - ② 赤鍋ノ滝。高見淵とナメ滝は右手から回り込む。続く3mと4mの滝は釜を泳いで突破できるが、右側の踏み跡に逃げてもよい。
  - ③ 釜滝は直径30mぐらいの釜の向こうに2条7mの美瀑を落とす。右岸を絡んで落ち口に出ると二俣で、周辺はビバーク適地。
  - ④ 右岸に高い壁が続きノウナシ滝35mが現われる。通常は手前のリッジから高巻く。
  - ⑤ 左の壁から千手滝が落ち、上の馬頭滝は下からは眺められない。右側のルンゼに取り付いて壁を高巻き、いったん千手滝の落ち口に出たうえで登り直す。錯綜する踏み跡に惑わされて高巻きしすぎると、馬頭滝を見ずに上流へ出てしまうので、的確なルート判断が要求されるところ。馬頭滝はチムニー滝で不気味な感じがする。
  - ⑥ 地藏滝は左岸を巻く。
  - ⑦ 二俣でどちらをとっても大峰主稜まで1時間余り。右俣の脇ノ宿谷に入る。
  - ⑧ 5m滝の右岸に50mの岩壁が峭立する。左側が容易に巻ける。
  - ⑨ 源流域に入り、深い樹林の中にナメと小滝が続いて飽きさせない。
  - ⑩ 上流は穏やかな細い流れとなり、沢身をつめていけばヤブこぎなしに奥駈道に出る。

# 比良 鴨川水系八池谷 (1級 / I+)

名古屋から2時間20分

